

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		サテライト式での集団参加の一例
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他(日常生活の指導)
	単元・題材名	iPadを使って、朝の会や合同朝会へ参加しよう
	授業の目標	●教室以外の場所で、日常的に学級の朝の会へ参加する。 ●教室以外の場所で、定期的に行われる合同朝会や保健の学習等へ参加する。
	学力の3要素	■「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (3)年(6)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input checked="" type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input checked="" type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input checked="" type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 集団の人前で話すことに抵抗があり、選択性緘黙のような状態になる。したがって、特定の大人には気持ちを多少表現できても、生徒同士で自然な関わりの中、会話等をする場面はほとんど見られない。また、現在の状況としては、所属する学級の教室に入らず、職員室の机で個別学習を行っているため、学級の友達との関わりが少ない。人に対する不安感が強く、緊張が高まると、声をあげてしまうことがある。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input checked="" type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援( <input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援( <input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援( <input type="checkbox"/> D1実態把握支援)  ・iPadを用いることで、学級の友だちと一緒に朝の会を通して、教室に入らずとも、同じ時間を共有することができたり、お互いに所属意識を高めたりすることができるようにする。また、必ず朝の会で今日の給食を聞き取って記入するという活動を位置づけることで、質問したりお礼を言ったりする場面を意図的に作る。それは、朝の会の前後に、挨拶や体調を聞くなどの自然な関わりにつながると考える。 ・学級よりも大きい集団での授業についても、本人の意思を尊重しながら遠隔で参加する。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	・iPad (Apple Inc.)  ・専用のスタンド 
授業展開	授業展開・支援の手立て	<input type="checkbox"/> 日常生活の指導「朝の会」(9月から毎朝10分間) 授業展開:日直の司会による号令、出席の確認(呼名、返事)、日付や日程の確認、先生の話、号令(参加の有無は生徒が決める。生徒がiPadの設置を手伝うような環境、生徒同士で自然に触れ合う機会を作る。)   <input type="checkbox"/> 合同朝会(毎週月曜日)、スマイル(保健・食育の授業)〈月に一度〉、ALTの授業(英会話の授業)〈月に一度〉(本人の様子を確認しながら、授業をつなぐかどうかを判断する。また、人の意思で、参加を中断することもある。)
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	導入当初から、iPadを介して、学級の朝の会への参加を拒むことは、見られなかった。導入当初は、自発的な行動が少なく、画面から聞こえる友だちからの言葉がけには反応することなく、隣にいる教員の言葉がけで行動をしていた。活用から1か月が過ぎる頃には、日直をする友だちの号令を聞いてすぐに行動したり、呼名に返事をする声が大きくなったりと、画面を通して朝の会へ参加しているという意識が高まったことが伺えた。日課帳の記入をしていて、給食のメニューが分からない時には、朝の会でのメニュー確認をよく聞いて、書きこむことがあった。また、聞き取れない時には、朝の会が終わってから、友だちに質問することもあった。 本生徒は、自閉症スペクトラムだけでなく、入学当初より、対人面での課題があり、障害特性や精神状態に配慮することが必要な生徒である。したがって、無理に、集団への参加を促すことよりも、本人の意思で、安心して参加できる・したいと思える環境を整える必要がある。そのうえで、iPad(FaceTime)を用いて、サテライト式に朝の会等へ参加することは、本人にとってハードルがとて低く、日常的に経験を重ねることで、態度の変容までが見られた点や、呼名に対する返事だけでなく、相互に言葉を交わす様子が見られた点で成果が認められた。また、2月現在、卒業式の全校練習にもサテライト式で参加し、返事等の練習を行うことができています。